

## 第6章 介護支援専門員調査

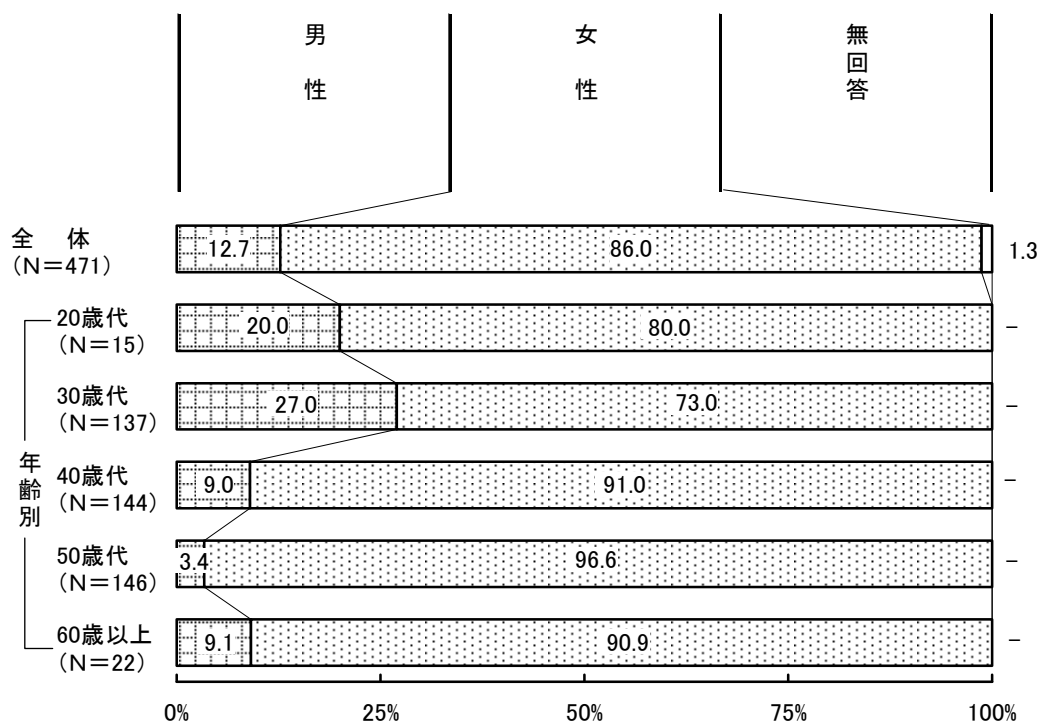
### 1. 回答者の属性

#### (1) 性別、年齢

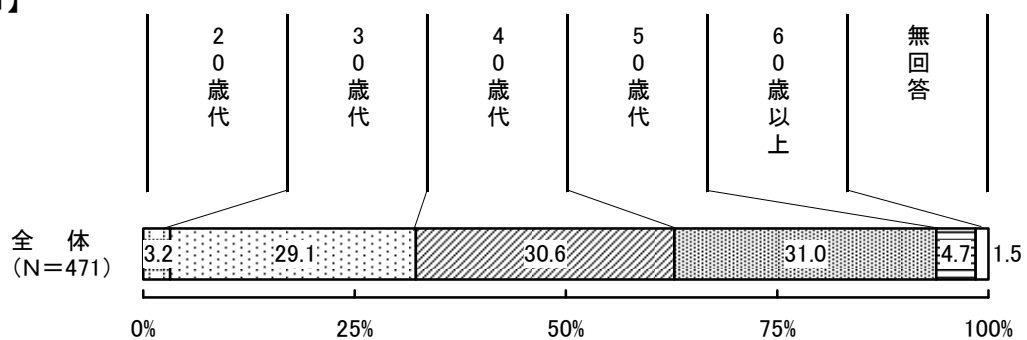
問1 あなたの性別は。

問2 あなたの年齢は。(平成19年10月1日現在)

#### 【性別×年齢別】



#### 【年齢】

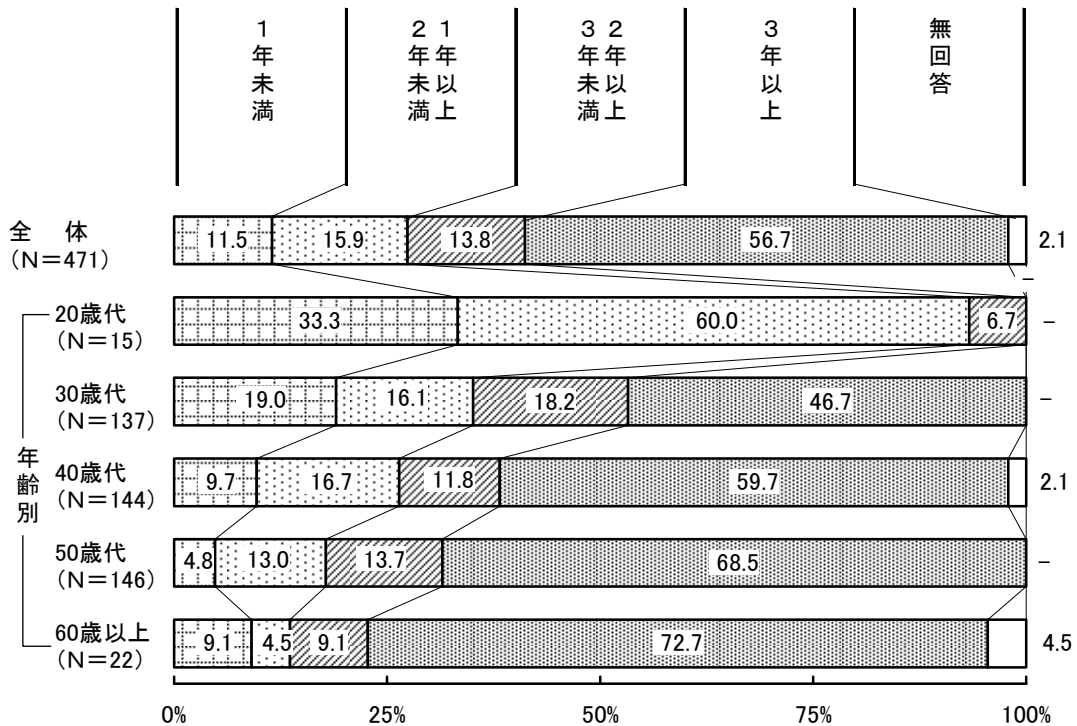


介護支援専門員は、女性が86.0%と多く、特に40歳代以上で9割を超えている。年齢別では50歳代(31.0%)、40歳代(30.6%)、30歳代(29.1%)がそれぞれ3割前後を占めている。

(2) 専門員歴

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(〇は1つ)

【専門員歴×年齢別】

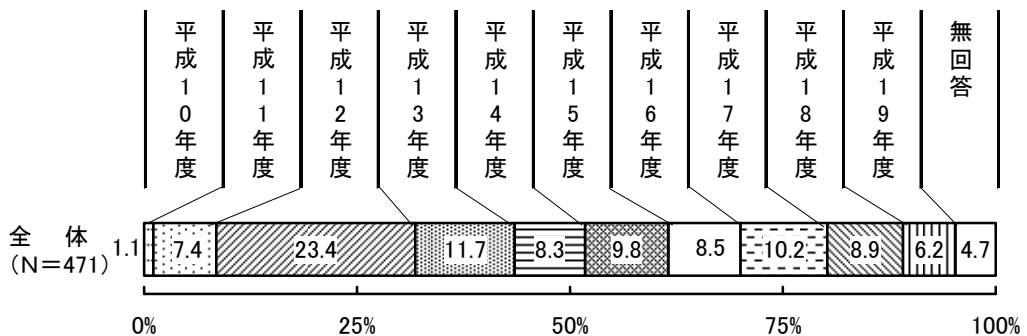


専門員の経験年数では、「3年以上」が 56.7%と最も多い。年齢別にみると年齢が高くなるにつれて「3年以上」の割合も上昇し、60歳以上では7割を超えている。

(3) 資格取得年

問4 あなたは介護支援専門員の資格をいつ取得しましたか。

【資格取得年】



資格取得年では、「平成 12 年度」が 23.4%と最も多く 2割を超えている。

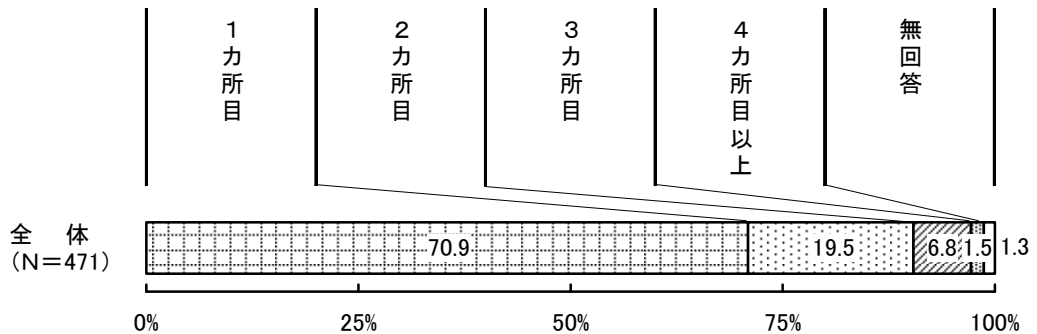
## (4) 事業所を変った回数・移った理由

問5 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所は、介護支援専門員として働き始めて何カ所目の事業所ですか。

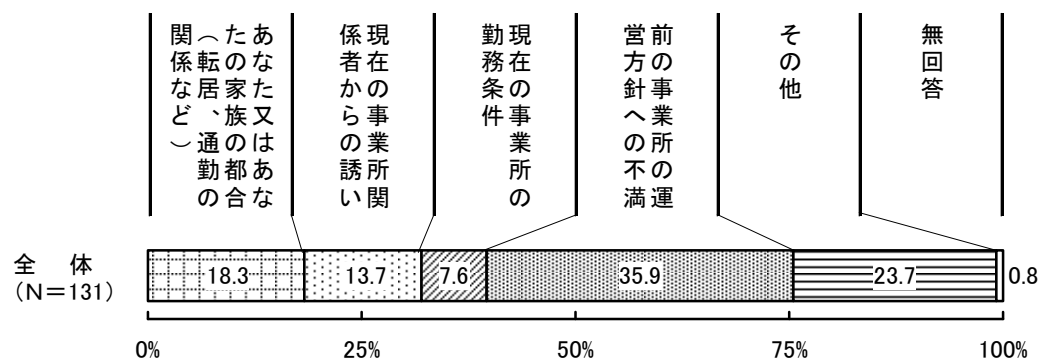
## 【問5で「2カ所目」以上と答えた方にかがいます】

問5-1 現在、勤務している事業所に移った理由は何ですか。(〇は1つ)

## 【事業所が変わった回数】



## 【移った理由】



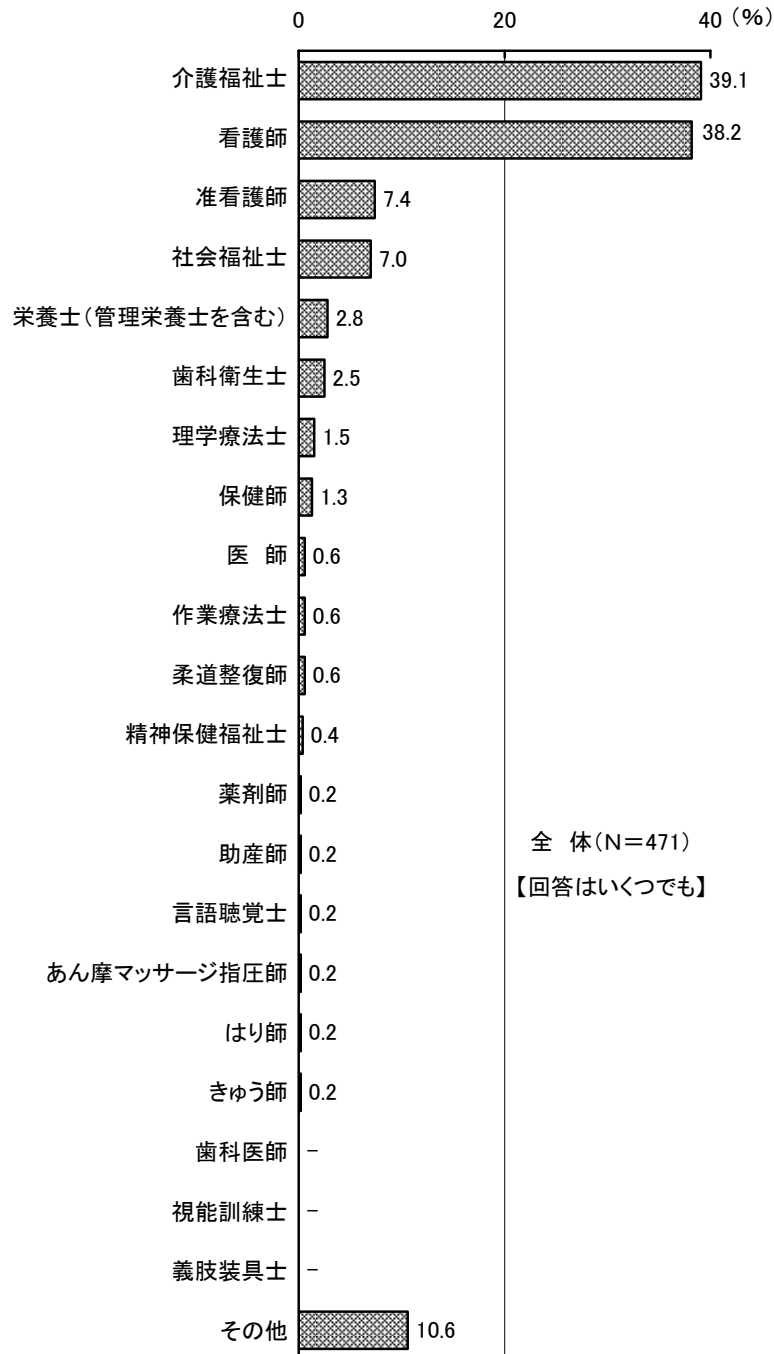
事業所を変った回数では「1カ所目」が70.9%と最も多く、次いで「2カ所目」が19.5%となっている。

事業所を移った理由では、「前の事業所の運営方針への不満」が35.9%と、最も割合が高い。

(5) 介護支援専門員以外の取得資格

問6 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。  
(〇はいくつでも)

【介護支援専門員以外で取得している資格】



介護支援専門員以外で取得している資格では、「介護福祉士」が 39.1%、「看護師」が 38.2%と  
いずれも 4 割弱にのぼっている。

(6) 勤務形態・兼務内容・従事時間

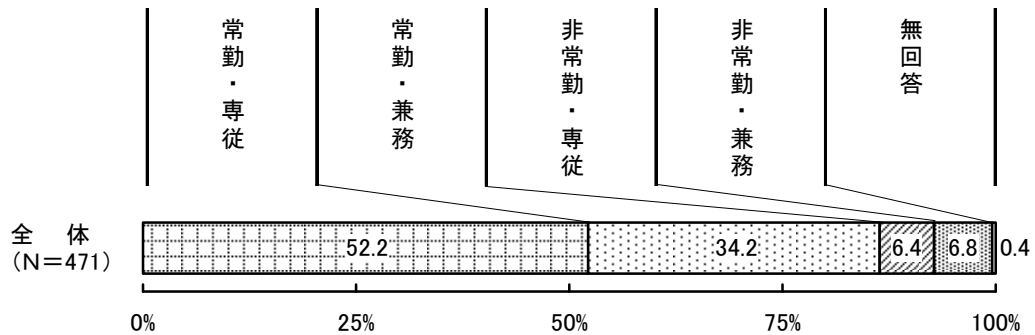
問7 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

**【問7で「兼務」と答えられた方にかがいます】**

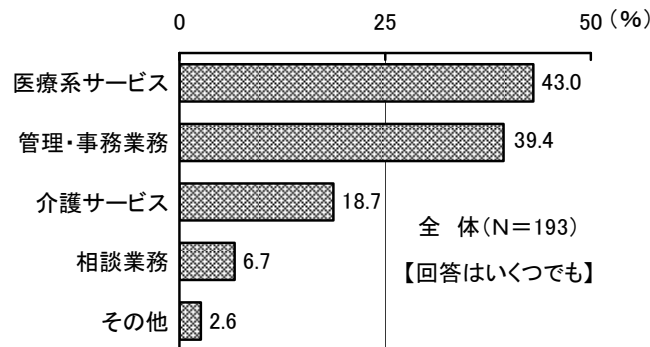
問8 どのような業務を兼務していますか。(○はいくつでも)

問9 一週間のうち、居宅介護支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

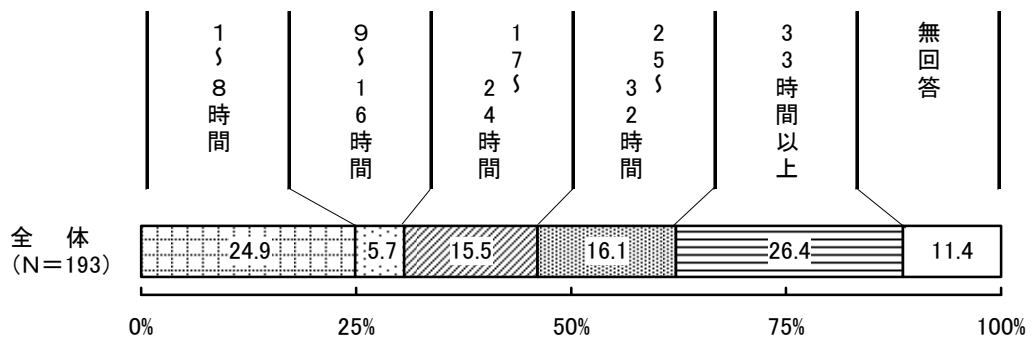
**【勤務形態】**



**【兼務内容】**



**【従事時間】**



勤務形態では、「常勤・専従」が 52.2%、「常勤・兼務」が 34.2%で、常勤が 86.4%を占めている。

常勤・非常勤にかかわらず兼務している人の業務内容は「医療系サービス」が 43.0%、「管理・事務業務」が 39.4%となっている。

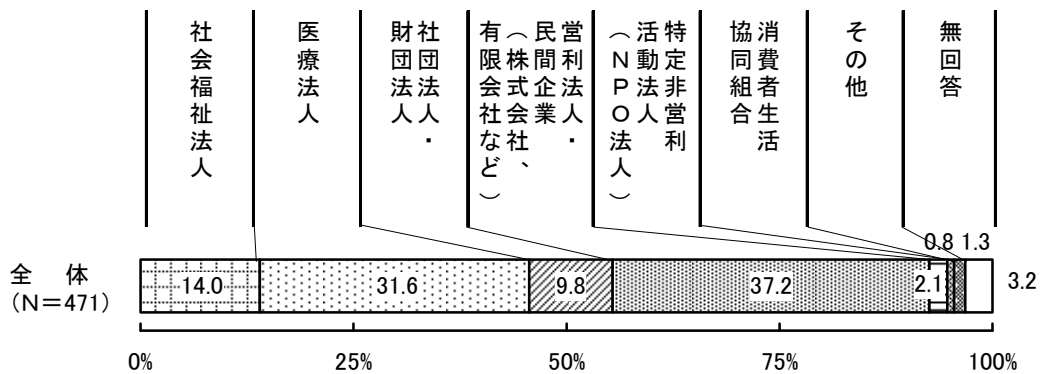
一週間のうち、居宅介護支援に従事する平均時間は、「33 時間以上」が 26.4%と最も多いが、「1～8 時間」も 24.9%と 2 割を超えている。

(7) 事業所の法人種別・介護支援専門員の人数

問 10 あなたが所属している居宅介護支援事業所の法人種別などは何ですか。  
(○は1つ)

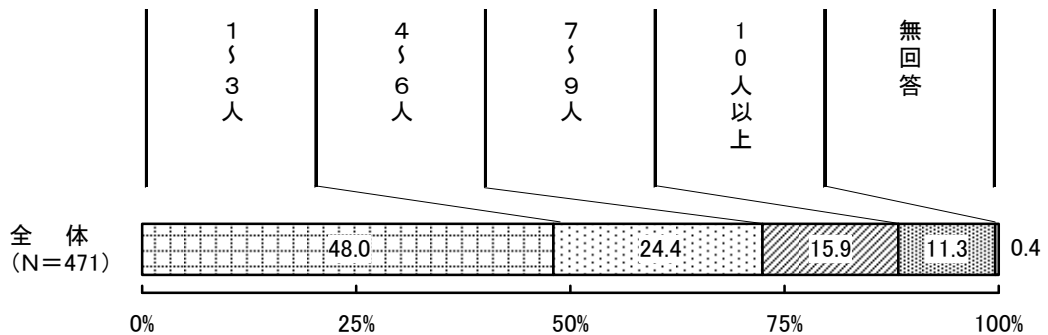
問 11 あなたが所属している居宅介護支援事業所には、あなたを含めて何人の  
介護支援専門員がいますか。

【事業所の法人種別】



事業所の法人種別をみると「営利法人・民間企業 (株式会社、有限会社など)」が 37.2%と最も多く、次いで「医療法人」が 31.6%となっている。

【事業所の介護支援専門員の人数】



所属している事業所の介護支援専門員の人数をみると「1～3人」が 48.0%と約半数を占めている。

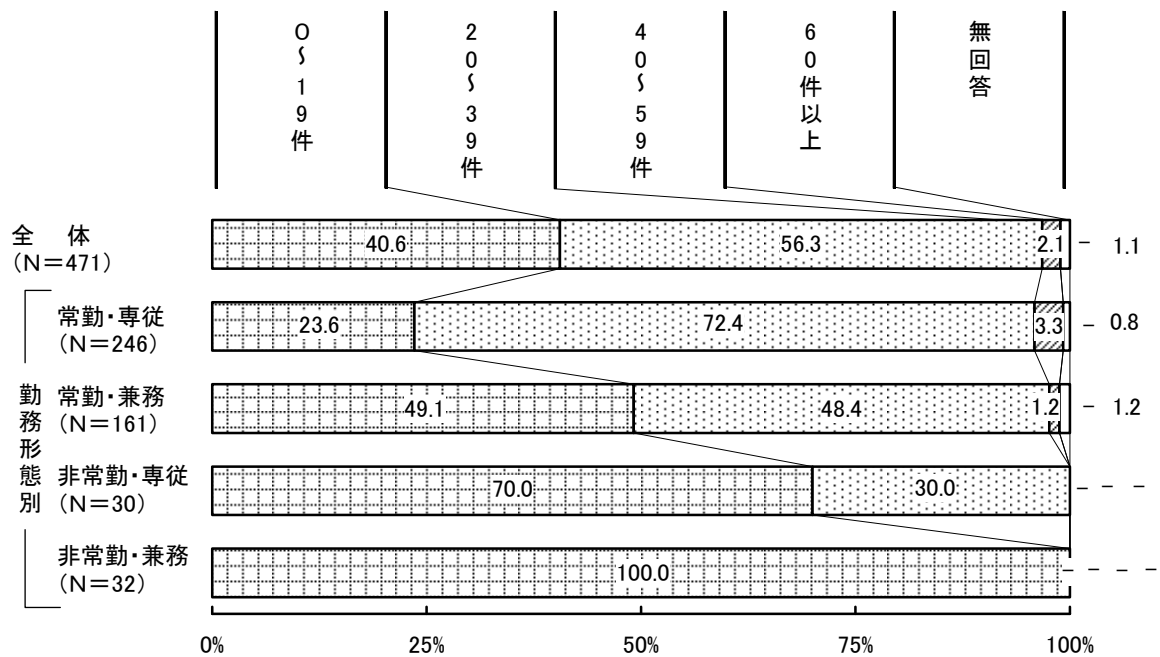
## 2. ケアマネジメントについて

### (1) 給付管理件数

【以下の設問(問12～問15-1)は平成19年9月の状況について教えてください】

問12 あなたが給付管理を行ったケース(利用者が9月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース)は何件ですか。

【給付管理件数×勤務形態別】



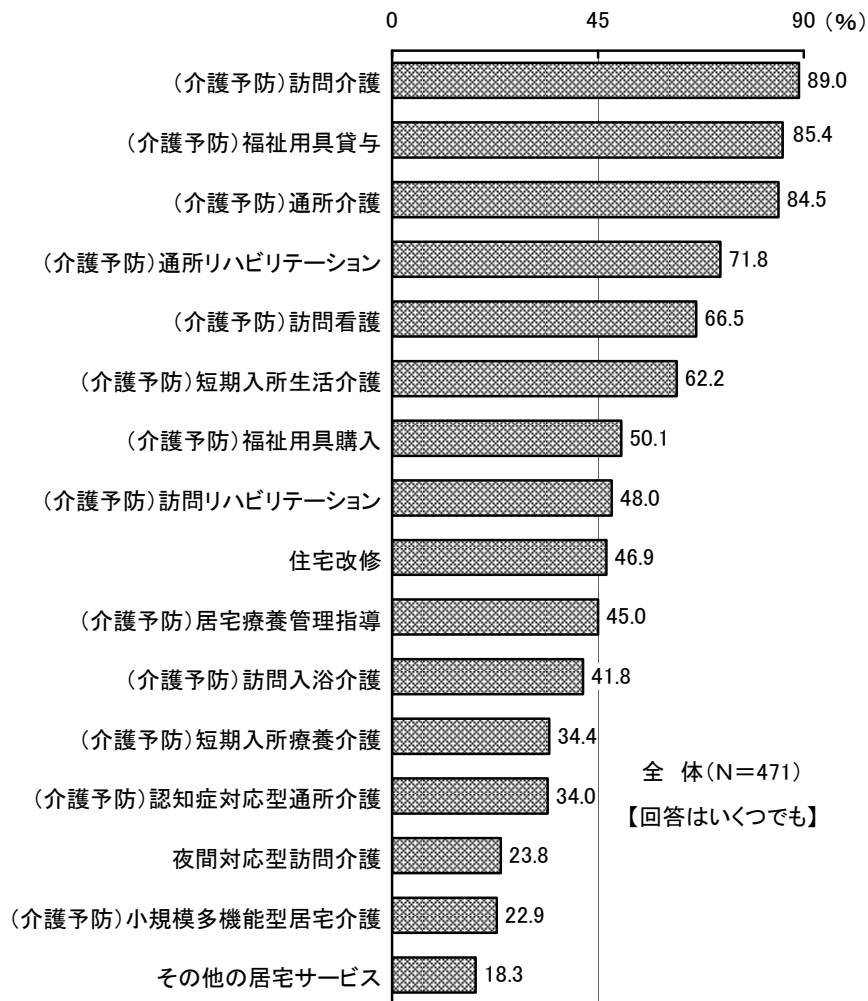
平成19年9月の給付管理件数は合計9,973件で一人当たり平均は21.2件となっている。

勤務形態別にみると、常勤専従は一人当たり平均25.6件、常勤兼務は18.7件、非常勤専従は16.8件、非常勤兼務は4.5件となっている。

(2) サービスの種類

問 12-1 現在居宅サービス計画に位置づけているサービス種類及び利用者件数はどれくらいですか。当てはまるサービスに○をし、件数を記入してください。(○はいくつでも)

【サービスの種類】



計画に位置づけているサービスの種類では、「(介護予防)訪問介護」が 89.0%と最も多く、次いで「(介護予防)福祉用具貸与」が 85.4%、「(介護予防)通所介護」が 84.5%と 8 割を超えている。



## (3) 不足していると思うサービス

問 12-2 現在あなたが担当しているケースについて、居宅サービス計画を作成する上で、不足していると思うサービスは何ですか。ケース毎に介護度と不足しているサービスに○をつけてください。(○はいくつでも)

## 【不足していると思うサービス×要介護度別】

		(%)														
		回答数	訪問介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	福祉用具貸与	住宅改修	小規模多機能型居宅介護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	その他	無回答
全体		1,310 100.0	272 20.8	140 10.7	144 11.0	286 21.8	263 20.1	231 17.6	80 6.1	152 11.6	60 4.6	52 4.0	79 6.0	93 7.1	47 3.6	-
要介護度別	要支援1	107	30.8	6.5	4.7	38.3	24.3	7.5	0.9	18.7	2.8	0.9	1.9	0.9	3.7	-
	要支援2	127	31.5	5.5	5.5	30.7	27.6	8.7	1.6	22.0	6.3	-	0.8	0.8	2.4	-
	要介護1	363	15.2	9.1	8.8	24.5	17.1	12.1	2.2	21.5	5.2	2.5	3.3	5.8	1.9	-
	要介護2	276	20.3	12.0	13.0	22.8	22.5	20.3	3.3	4.7	3.6	6.9	4.7	8.7	2.5	-
	要介護3	201	19.4	14.4	11.9	12.9	23.4	24.4	8.5	3.5	6.0	8.5	8.0	10.0	5.0	-
	要介護4	120	15.8	10.8	21.7	13.3	17.5	28.3	16.7	3.3	2.5	3.3	12.5	10.8	3.3	-
	要介護5	116	25.9	15.5	12.1	10.3	8.6	25.0	19.8	1.7	4.3	1.7	17.2	11.2	10.3	-

給付管理を行っているケース(9,973件)のうちサービスが不足しているケースは1,310件で、全体の13.1%となっている。不足していると思うサービスは「通所介護」が21.8%、「訪問介護」が20.8%、「通所リハビリテーション」が20.1%と2割を超えて高い。

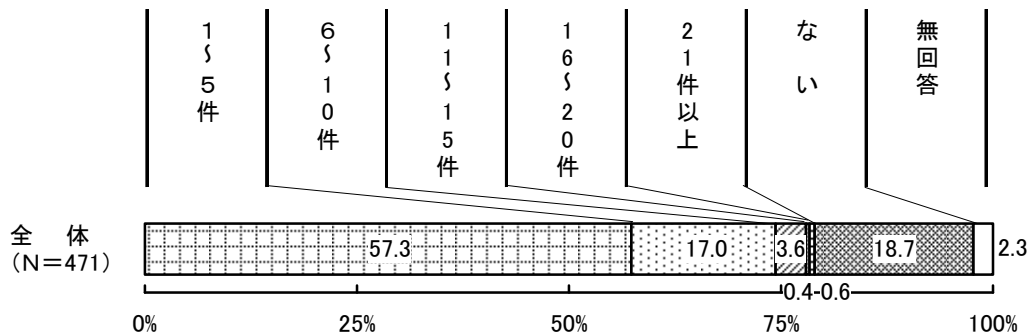
要介護度別にみると、「通所介護」では要支援1が38.3%、「訪問介護」では要支援2が31.5%、要支援1が30.8%と、他と比べて割合が高くなっている。

その他「福祉用具貸与」では要支援1、要支援2、要介護1、「訪問リハビリテーション」では要介護4、「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」、「夜間対応型訪問介護」では要介護4および要介護5の割合が他と比べて高い。

(4) 保険外サービスを組み合わせたケアプラン状況

問 13 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。あればその件数も記入してください。(〇は1つ)

【保険外サービスを組み合わせたケアプランの状況】



保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランは合計1,650件で、全体(9,973件)の16.5%となっている。ケアマネジャー全体の78.9%が保険外サービスと組み合わせてケアプランを作成したと回答しており、そのうち「1～5件」が57.3%、「6～10件」が17.0%と10件以内がほとんどである。

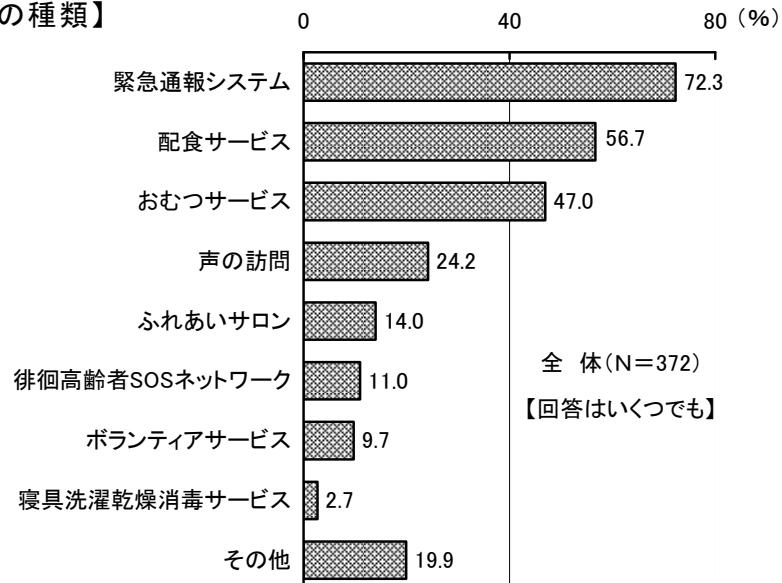
## (5) 保険外サービスの種類・今後充実が必要なサービスの種類

## 【問 13 で「ある」と答えられた方にうかがいます】

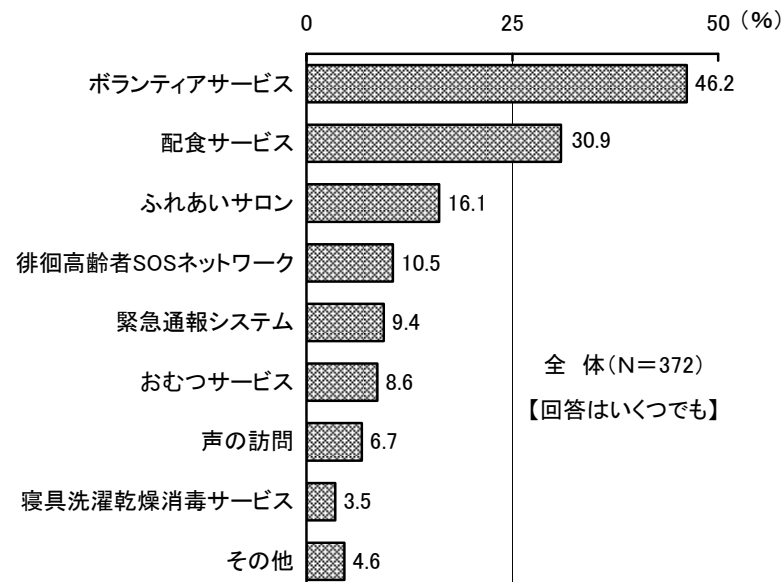
問 13-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲み、  
またケースの件数も記入してください。(○はいくつでも)

問 13-2 現在不足しており、今後充実が必要と思うサービスは何ですか。  
(○はいくつでも)

## 【保険外サービスの種類】



## 【今後充実が必要なサービス】



組み合わせた保険外サービスの内容は「緊急通報システム」が72.3%で最も高く、次いで「配食サービス」が56.7%、「おむつサービス」が47.0%などとなっている。

今後充実が必要なサービスでは「ボランティアサービス」が46.2%と最も高く、「配食サービス」が30.9%と続いている。

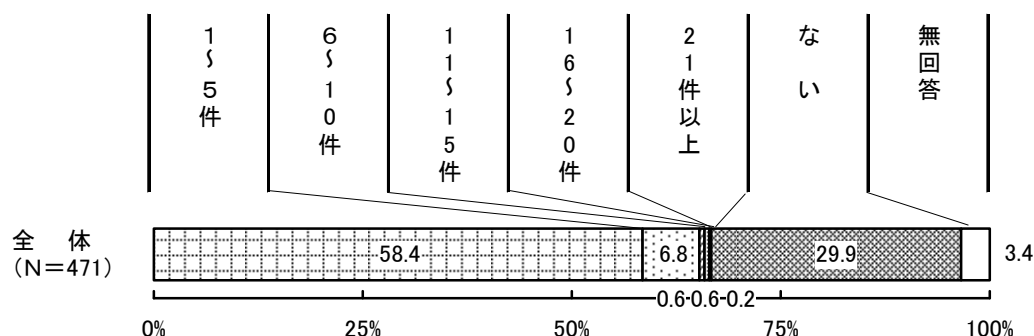
(6) 在宅での生活が困難なケースの状況・内容

問 14 在宅での生活が困難なケースはありますか。あればその件数も記入してください。(〇は1つ)

**【問 14 で「ある」と答えられた方にうかがいます】**

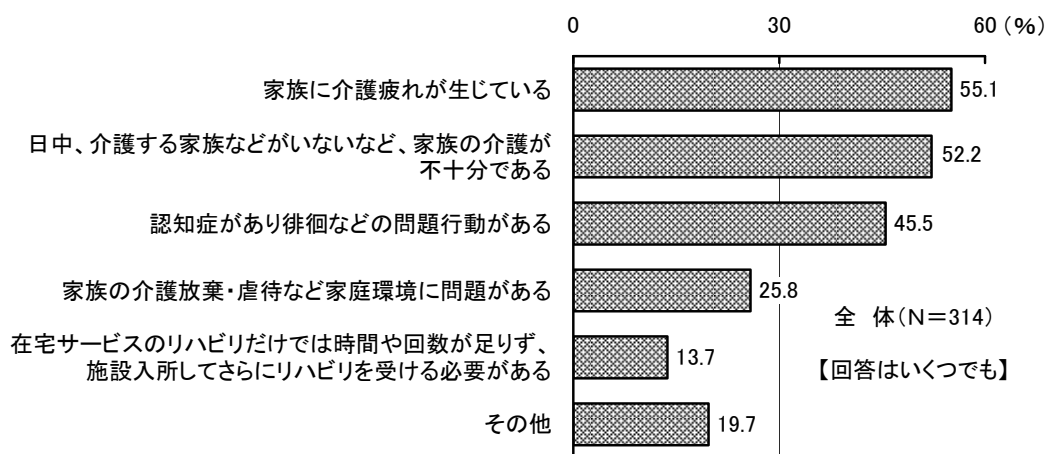
問 14-1 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を〇で囲み、またケースの件数も記入してください。(〇はいくつでも)

**【在宅での生活が困難なケースの発生状況】**



在宅での生活が困難なケースは合計 931 件で全体の 9.3%となっている。ケアマネジャー全体の 66.6%が在宅での生活が困難なケースがあると回答しており、そのうち「1～5件」が 58.4%を占めている。

**【在宅での生活が困難なケースの内容】**



在宅での生活が困難なケースの内容をみると、「家族に介護疲れが生じている」が 55.1%、次いで「日中、介護する家族などがいないなど、家族の介護が不十分である」が 52.2%といずれも『介護する家族』にかかわる問題が5割を超えている。次いで「認知症があり徘徊などの問題行動がある」が 45.5%となっている。

(7) 処遇困難な事例の状況・内容

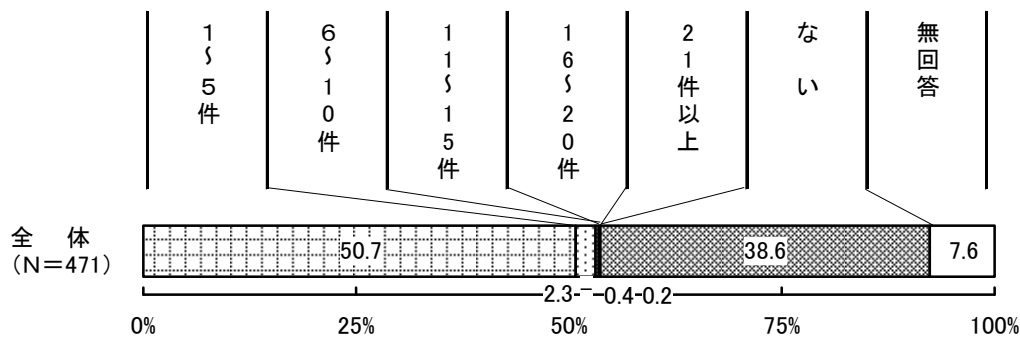
問 15 処遇困難な事例はありますか。あればその件数も記入してください。

(○は1つ)

**【問 15 で「ある」と答えられた方にかがいます】**

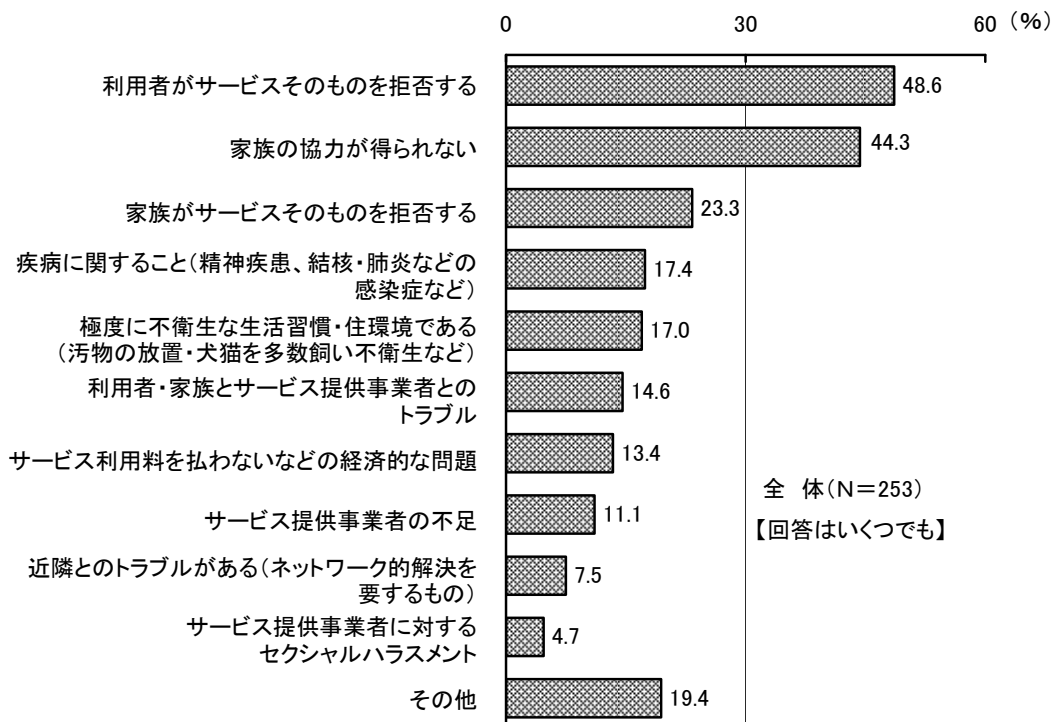
問 15-1 その事例はどのような事例ですか。該当するものの番号を○で囲み、また事例の件数も記入してください。(○はいくつでも)

**【処遇困難な事例の発生状況】**



処遇が困難な事例は 614 件で、全体の 6.2%となっている。ケアマネジャー全体の 53.6%が処遇困難な事例があったと回答しており、そのうち「1～5件」が 50.7%と 5件以下がほとんどを占めている。

**【処遇困難な事例の内容】**



処遇困難な事例の具体的な内容では、「利用者がサービスそのものを拒否する」が 48.6%と最も多く、次いで「家族の協力が得られない」が 44.3%となっている。

(8) 計画作成上利用しにくいサービス

**【以下の設問(問 16～問 30)は平成 18 年4月以降の状況についてお答えください】**

問 16 ケアマネジャーとして居宅サービス計画を作成するに当たり、全体的に、利用しにくいサービスについて、該当するものに○をつけてください。

また、その理由について下記の選択肢から選び、該当するサービス欄に番号を記入してください。(○はいくつでも)

**【利用しにくいサービス】**

サービスの種類	理由	回答数	(件数)					無回答
			悪事業所の質が悪い	利用料が高い	厳しすぎる基準が	わが希望とそぐわない	内容が利用者	
(介護予防)訪問介護		105	21	-	62	40	5	-
(介護予防)訪問入浴介護		41	-	29	3	4	6	-
(介護予防)訪問看護		43	1	33	1	1	8	1
(介護予防)訪問リハビリテーション		46	-	9	13	12	14	-
(介護予防)通所介護		29	7	2	2	18	1	-
(介護予防)通所リハビリテーション		35	11	3	5	16	4	-
(介護予防)福祉用具貸与		53	-	1	49	2	3	-
(介護予防)居宅療養管理指導		26	-	4	-	6	14	3
(介護予防)短期入所生活介護		28	2	4	6	9	10	-
(介護予防)短期入所療養介護		24	1	1	7	5	11	-
(介護予防)福祉用具購入		4	-	-	2	1	1	-
住宅改修		11	3	1	4	-	4	-
(介護予防)小規模多機能型居宅介護		33	-	4	6	9	16	1
夜間対応型訪問介護		13	-	3	1	2	6	1
(介護予防)認知症対応型通所介護		12	1	7	1	-	4	-
その他の居宅サービス		4	-	-	3	-	1	-
無回答		-	-	-	-	-	-	-
合計		507	47	101	165	125	108	6

居宅サービス計画を作成するに当たり利用しにくいサービスは「(介護予防)訪問介護」が 105 件と最も多く、次いで「(介護予防)福祉用具貸与」(53 件)、「(介護予防)訪問リハビリテーション」(46 件)、「(介護予防)訪問看護」(43 件)、「(介護予防)訪問入浴介護」(41 件)などがあげられている。

利用しにくい理由は「(介護予防)訪問介護」が「利用の基準が厳しすぎる」(62 件)、「内容が利用者の希望とそぐわない」(40 件)、「事業所の質が悪い」(21 件)などとなっており、「(介護予防)福祉用具貸与」でも「利用の基準が厳しすぎる」(49 件)が主な理由となっている。その他「(介護予防)訪問看護」と「(介護予防)訪問入浴介護」では「利用料が高い」が主な理由となっている。

## (9) 計画作成上過剰なサービス

問16 ケアマネジャーとして居宅サービス計画を作成するに当たり、全体的に、必ずしも必要ではないが計画に組み込んでいるサービス（過剰サービス）について、該当するものに○をつけてください。

また、その理由について下記の選択肢から選び、該当するサービス欄に番号を記入してください。（○はいくつでも）

## 【過剰なサービス】

サービスの種類	理由	回答数	(件数)					無回答
			調整が難しいサービスだった	利用者がサービス希望し、調整が難しかった	家族がサービス希望し、調整が難しかった	意向や関係する事業所の意向	所属する事業所の意向	
(介護予防)訪問介護		80	51	39	4	6	3	-
(介護予防)訪問入浴介護		-	-	-	-	-	-	-
(介護予防)訪問看護		8	1	1	2	5	-	-
(介護予防)訪問リハビリテーション		4	-	1	-	1	2	-
(介護予防)通所介護		14	9	3	1	1	1	-
(介護予防)通所リハビリテーション		4	2	1	-	1	-	-
(介護予防)福祉用具貸与		13	7	7	-	1	1	-
(介護予防)居宅療養管理指導		4	1	-	2	-	-	1
(介護予防)短期入所生活介護		6	1	4	-	-	1	-
(介護予防)短期入所療養介護		4	1	2	-	-	1	-
(介護予防)福祉用具購入		6	3	3	-	-	1	-
住宅改修		4	2	2	-	1	-	-
(介護予防)小規模多機能型居宅介護		-	-	-	-	-	-	-
夜間対応型訪問介護		-	-	-	-	-	-	-
(介護予防)認知症対応型通所介護		-	-	-	-	-	-	-
その他の居宅サービス		1	-	-	-	1	-	-
合計		148	78	63	9	17	10	1

居宅サービス計画を作成するに当たり必ずしも必要ではないが計画に組み込んでいるサービスは「(介護予防)訪問介護」が80件と最も多く、主な理由は「利用者がサービスを希望し、調整が難しかった」(51件)と「家族がサービスを希望し、調整が難しかった」(39件)となっている。

(10) 計画作成上不足するサービス

問 16 ケアマネジャーとして居宅サービス計画を作成するに当たり、全体的に、不足していると思うサービスについて、該当するものに○をつけてください。

また、その理由について下記の選択肢から選び、該当するサービス欄に番号を記入してください。(○はいくつでも)

【不足しているサービス】

サービスの種類	理由	回答数	(件数)						
			近事 業所 が利 用者 の 近く にな った	き 希 望 時 間 に 提 供 で き な か つ た	を 利 用 者 が サ ー ビ ス を 希 望 し な か つ た	希 家 族 が サ ー ビ ス を 希 望 し な か つ た	ス こ れ 以 上 の サ ー ビ ス 利 用 料 を 負 担 で き な い	そ の 他	無 回 答
(介護予防)訪問介護		61	8	27	10	9	17	6	1
(介護予防)訪問入浴介護		16	3	5	2	2	5	-	-
(介護予防)訪問看護		41	4	9	17	8	11	4	-
(介護予防)訪問リハビリテーション		56	32	18	7	1	6	8	1
(介護予防)通所介護		52	8	4	27	5	15	2	1
(介護予防)通所リハビリテーション		52	13	5	18	8	7	4	-
(介護予防)福祉用具貸与		19	-	1	5	1	5	7	1
(介護予防)居宅療養管理指導		9	3	-	1	2	1	2	-
(介護予防)短期入所生活介護		57	14	25	9	5	10	3	-
(介護予防)短期入所療養介護		31	11	11	3	3	3	5	-
(介護予防)福祉用具購入		6	-	-	2	2	3	1	-
住宅改修		9	1	1	2	2	3	2	-
(介護予防)小規模多機能型居宅介護		26	23	2	3	1	2	-	-
夜間対応型訪問介護		18	11	2	-	1	3	2	-
(介護予防)認知症対応型通所介護		16	8	1	4	3	3	-	-
その他の居宅サービス		1	-	-	-	-	1	-	-
合計		470	139	111	110	53	95	46	4

居宅サービス計画を作成するに当たり不足していると思うサービスは「(介護予防)訪問介護」(61件)、「(介護予防)短期入所生活介護」(57件)、「(介護予防)訪問リハビリテーション」(56件)、「(介護予防)通所介護」、「(介護予防)通所リハビリテーション」(ともに52件)などが上位にあげられている。

不足している理由は「(介護予防)訪問介護」と「(介護予防)短期入所生活介護」は「希望時間に提供できなかった」、「(介護予防)訪問リハビリテーション」は「事業所が利用者の近くにならなかった」、「(介護予防)通所介護」と「(介護予防)通所リハビリテーション」は「利用者がサービスを希望しなかった」が主な理由である。また、「(介護予防)訪問介護」と「(介護予防)通所介護」では「これ以上のサービス利用料を負担できない」の理由も他のサービスに比べて多い。

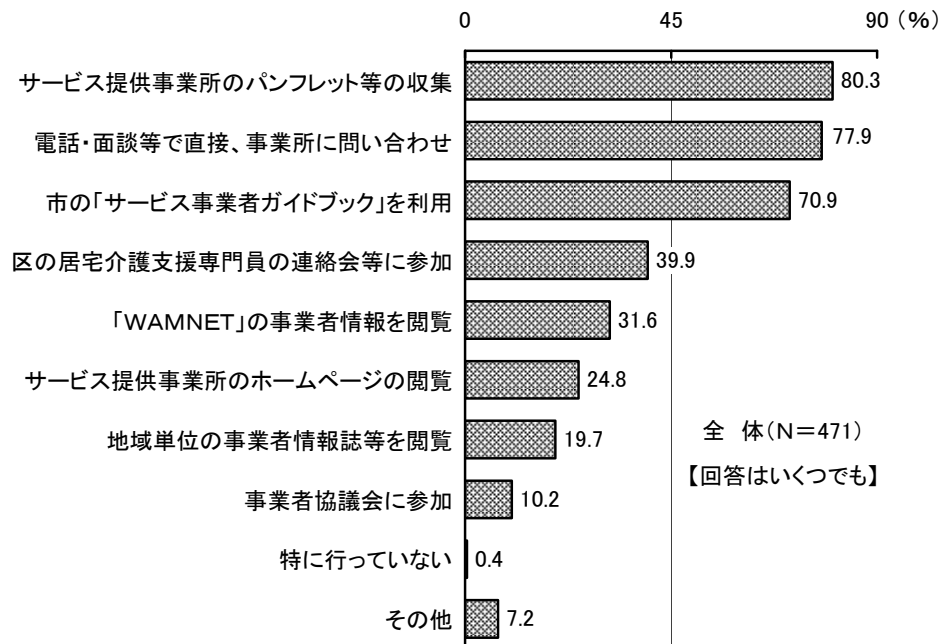


## (11) 情報収集や連絡・調整

問 17 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

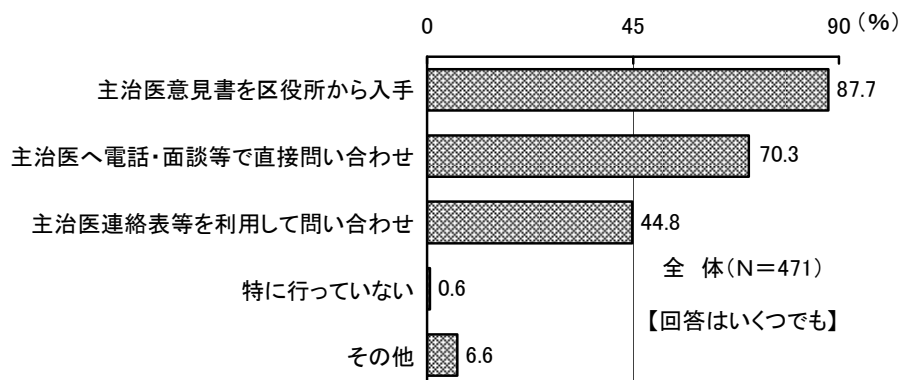
問 18 居宅サービス計画の作成に当たって、医療機関等からの情報収集などはどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

## 【情報収集や連絡・調整】



サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整方法は、「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」(80.3%)、「電話・面談等で直接、事務所に問い合わせ」(77.9%)、「市の「サービス事業者ガイドブック」を利用」(70.9%)の順となっている。

## 【医療機関等からの情報収集方法】



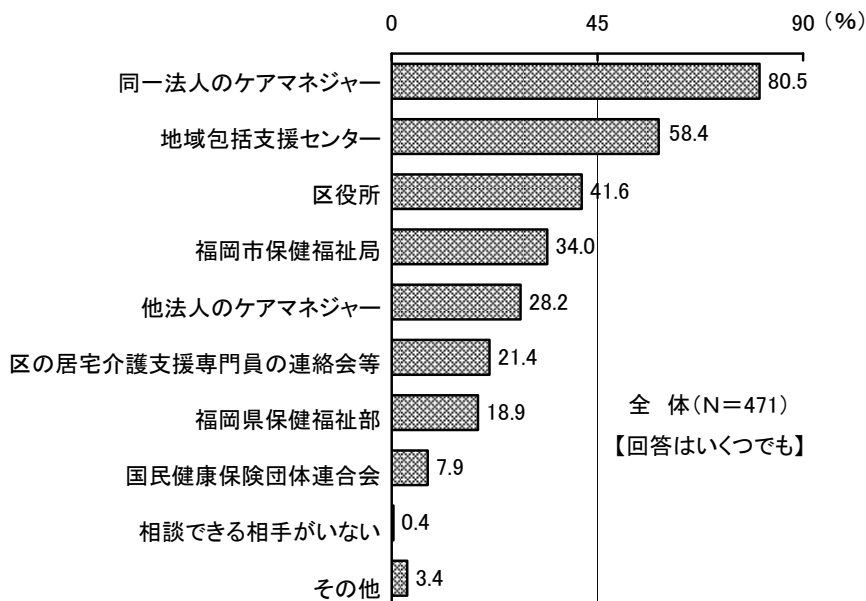
医療機関等からの情報収集の方法では、「主治医意見書を区役所から入手」が87.7%と最も多く、次いで「主治医へ電話・面談等で直接問い合わせ」が70.3%となっている。

(12) 計画作成上の相談相手・相談内容

問 19 居宅サービス計画を作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

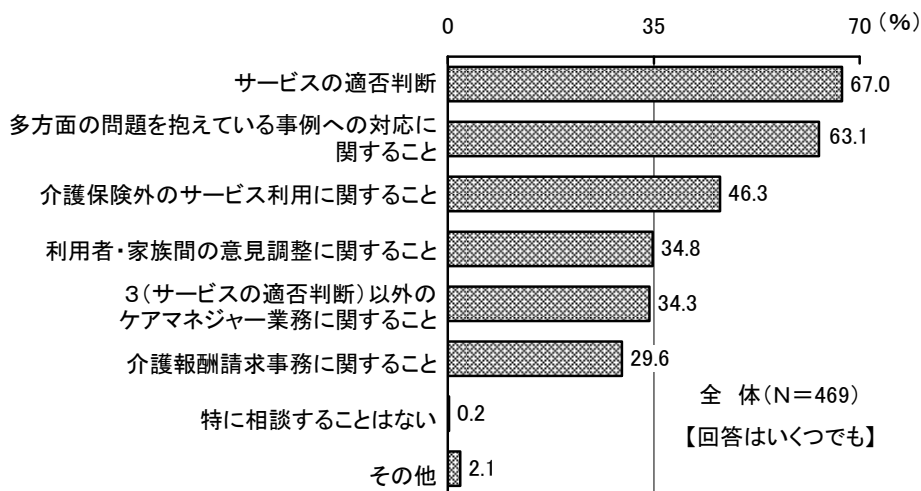
問 19-1 どのようなことを相談していますか。(〇はいくつでも)

【相談相手】



相談相手では、「同一法人のケアマネジャー」が 80.5%と最も多く 8 割を超えている。次いで「地域包括支援センター」が 58.4%、「区役所」が 41.6%となっている。

【相談内容】

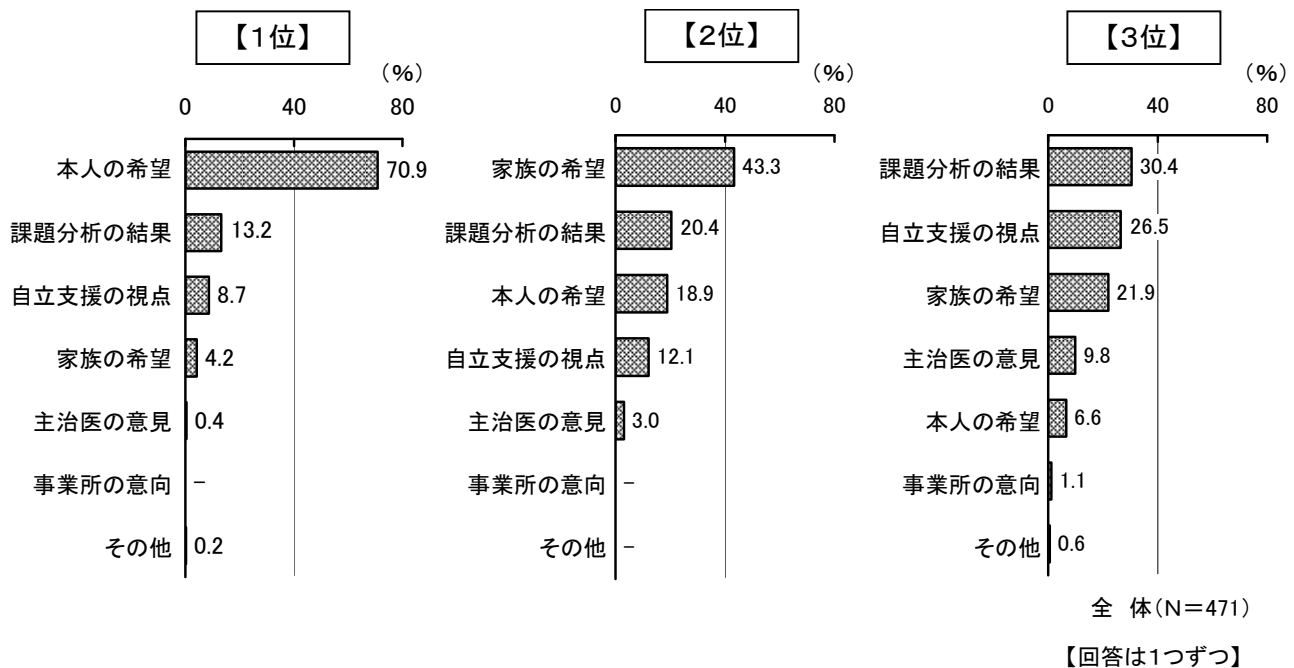


相談の内容では、「サービスの適否判断」が 67.0%、「多方面の問題を抱えている事例への対応に関する事」が 63.1%と 5 割を超えている。

## (13) 計画作成の際に重視する点

問 20 居宅サービス計画を作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記から上位3つを選択し、番号を記入してください。

## 【計画作成する際に重視する点】



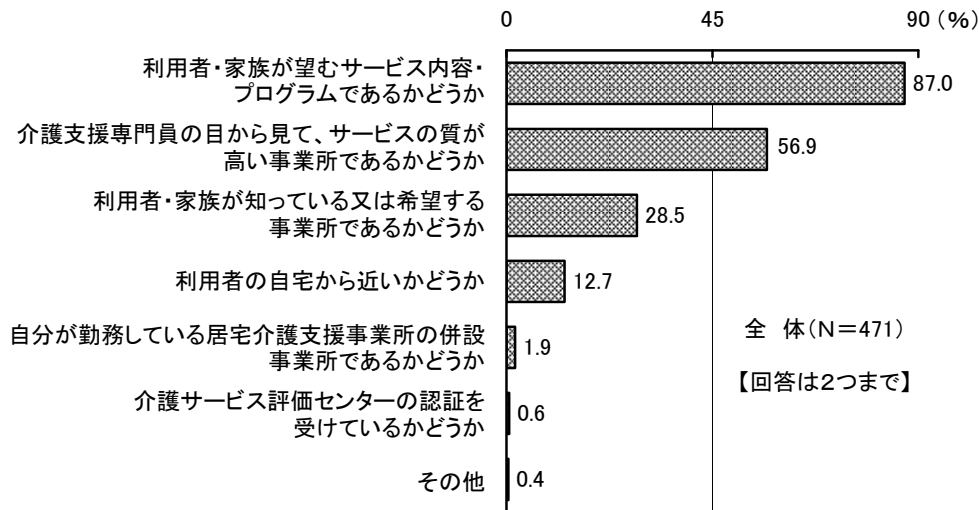
居宅サービス計画を作成する際に重視する点を、第3位まであげてもらったところ、第1位で最も回答が多かった項目は「本人の希望」で70.9%と、全体の7割を占めている。

第2位では「家族の希望」(43.3%)、第3位では「課題分析の結果」(30.4%)、「自立支援の視点」(26.5%)の割合が高くなっている。

(14) 事業所紹介の際に重視する点

問 21 あなたは利用者に対して、どんな基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(〇は2つまで)

【紹介の際に重視する点】



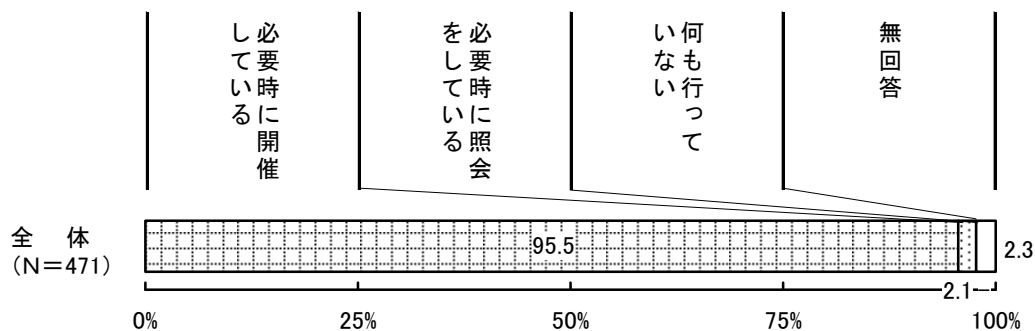
サービス事業所を紹介する際に重視する点では、「利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか」が 87.0%と最も多く、次いで「介護支援専門員目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか」が 56.9%となっている。

### 3. 他機関との連携について

#### (1) サービス担当者会議の開催状況

問 22 サービス担当者会議の開催状況はどうなっていますか。担当しているケースで最も多いもの1つに○をしてください。(○は1つ)

##### 【サービス担当者会議の開催状況】



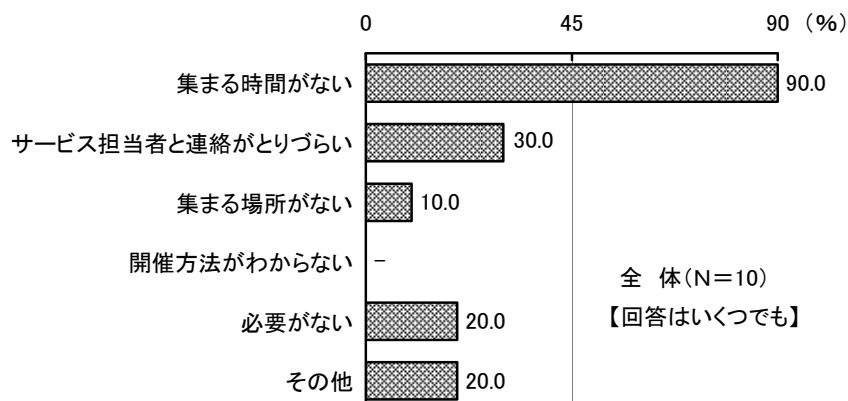
サービス担当者会議の開催状況では、「必要時に開催している」が 95.5%と、ほぼ全回答を占めている。

#### (2) サービス担当者会議を開催しない理由

##### 【問 22 で「必要時に照会」か「何も行ってない」と答えた方にうかがいます】

問 22-1 サービス担当者会議を開催しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

##### 【開催しない理由】

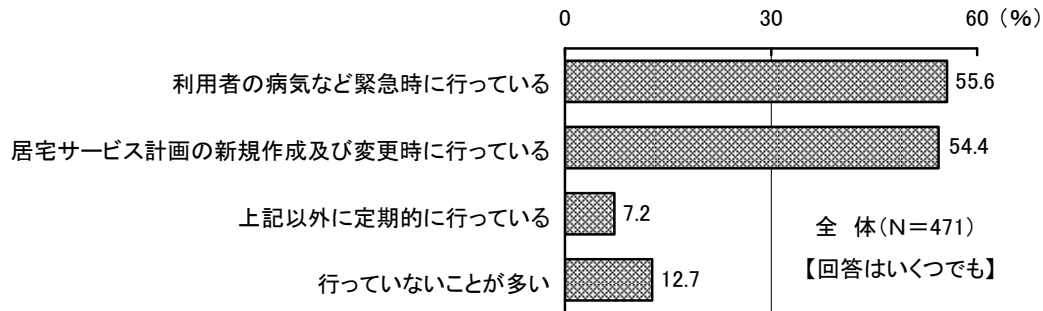


「必要時に照会をしている」と回答した 10 人に会議を開催しない理由をたずねたところ（「何も行ってない」は回答者 0 人）、「集まる時間がない」が 90.0%（9 人）にのぼっている。

(3) 主治医との連絡・報告の状況

問 23 主治医との連絡・報告を行っていますか。(〇はいくつでも)

【主治医との連絡・報告の状況】



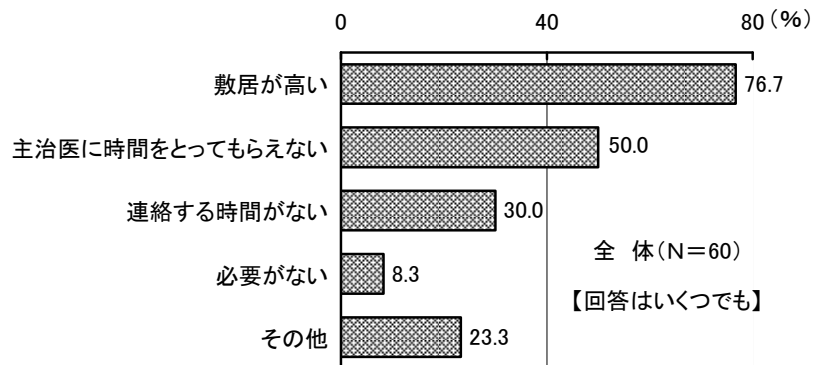
主治医との連絡・報告の状況では、「利用者の病気など緊急時に行っている」(55.6%)、「居宅サービス計画の新規作成及び変更時に行っている」(54.4%)が5割を超えている。

(4) 主治医に連絡・報告を行っていない理由

【問 23 で「行っていないことが多い」と答えた方にうかがいます】

問 23-1 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【主治医に連絡・報告を行っていない理由】

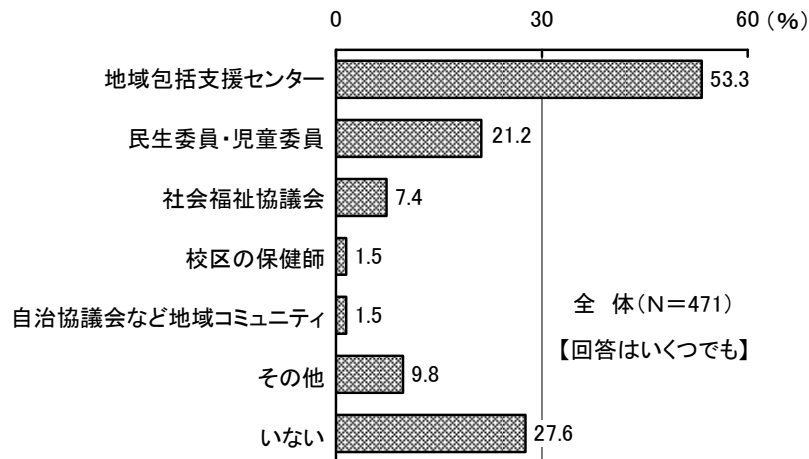


主治医に連絡・報告を行っていないと回答した人(60人)に理由をたずねたところ、「敷居が高い」が76.7%と最も高く、次いで「主治医に時間をとってもらえない」が50.0%となっている。

## (5) 主治医・事業所以外に日頃、連絡を取っている人

問 24 主治医・サービス事業所以外に利用者に関して日頃、連絡を取っている人はいますか。(〇はいくつでも)

## 【日頃、連絡を取っている人】

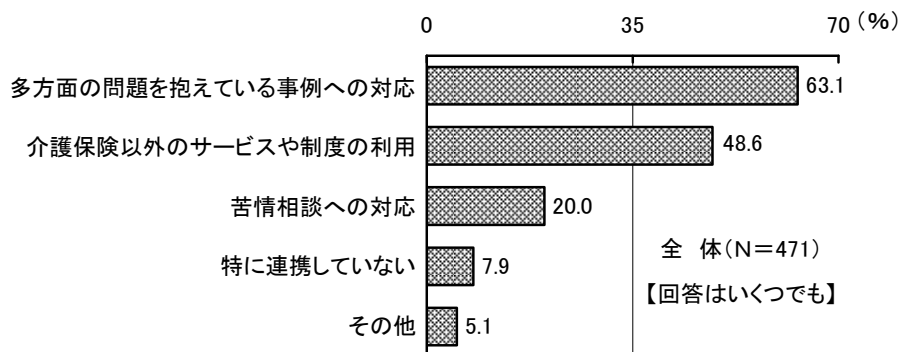


主治医・サービス事業所以外に日頃、連絡を取っている人では、「地域包括支援センター」が53.3%と最も高くなっている。

## (6) 支援センター・区役所等と連携する場合

問 25 地域包括支援センター・区役所等と連携するときにはどのような場合ですか。(〇はいくつでも)

## 【支援センター・区役所等と連携する場合】



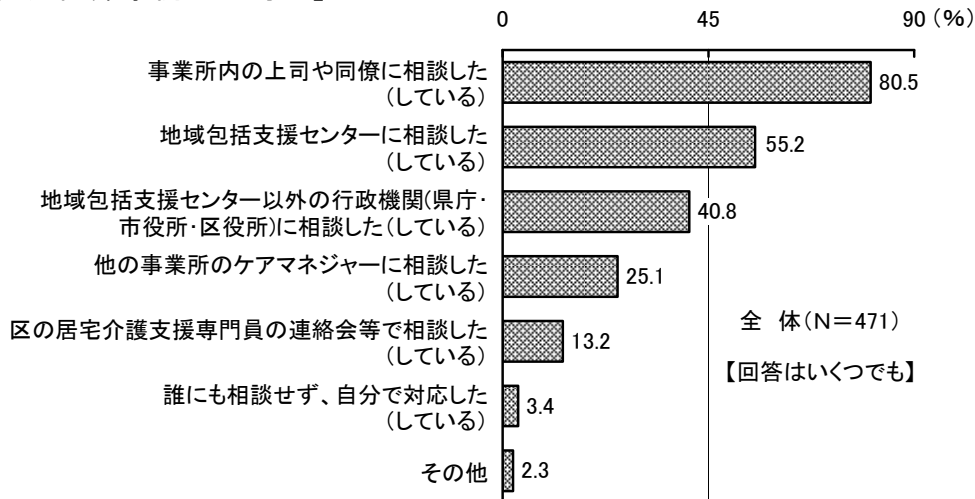
地域包括支援センター・区役所等と連携する場合には、「多方面の問題を抱えている事例への対応」が63.1%と最も高く、次いで「介護保険以外のサービスや制度の利用」が48.6%となっている。

## 4. 処遇困難事例などへの対応について

### (1) 処遇困難事例への対応

問 26 あなたは処遇困難事例について主にどのように対応してきましたか。  
(○はいくつでも)

#### 【処遇困難事例への対応】

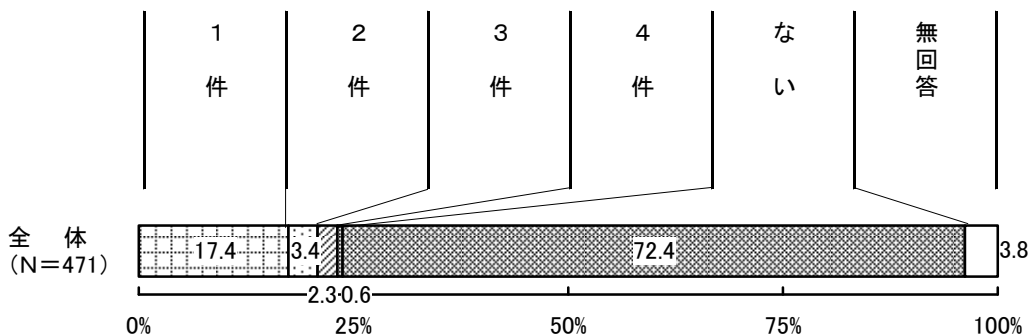


処遇困難な事例への対応では、「事業所内の上司や同僚に相談した (している)」が 80.5%と最も多く、「地域包括支援センターに相談した (している)」が 55.2%、「地域包括支援センター以外の行政機関 (県庁・市役所・区役所) に相談した (している)」が 40.8%と続いている。

### (2) 高齢者虐待の事例の状況

問 28 高齢者虐待と思われる事例はありますか。あればその件数も記入してください。(○は1つ)

#### 【高齢者虐待事例の状況】



高齢者虐待と思われる事例が「ある」と回答した割合は 23.7%で、そのうち 17.4%が「1件」と回答している。

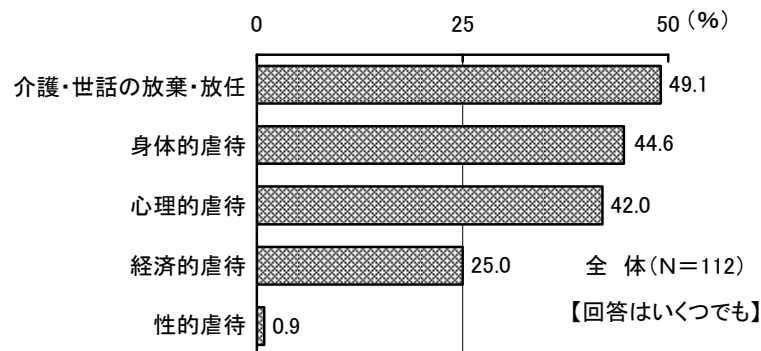


## (3) 高齢者虐待の事例の内容、対応

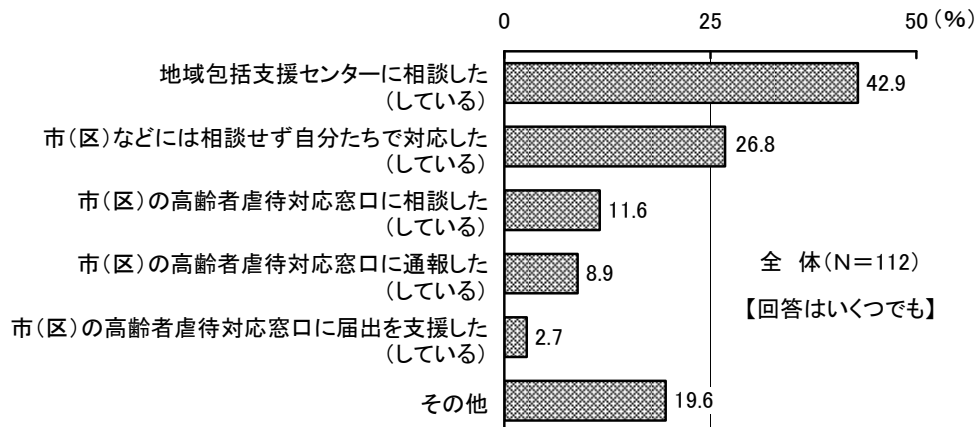
**【問 28 で「ある」と答えられた方にうかがいます】**

問 28-1 その事例はどのような事例ですか。該当するものを選んで、その件数を記入してください。(〇はいくつでも)

問 28-2 あなたは高齢者虐待事例について主にどのように対応してきましたか。(〇はいくつでも)

**【高齢者虐待事例の内容】**

高齢者虐待と思われる事例の内容は、「介護・世話の放棄・放任」が49.1%、「身体的虐待」が44.6%、「心理的虐待」が42.0%などとなっている。

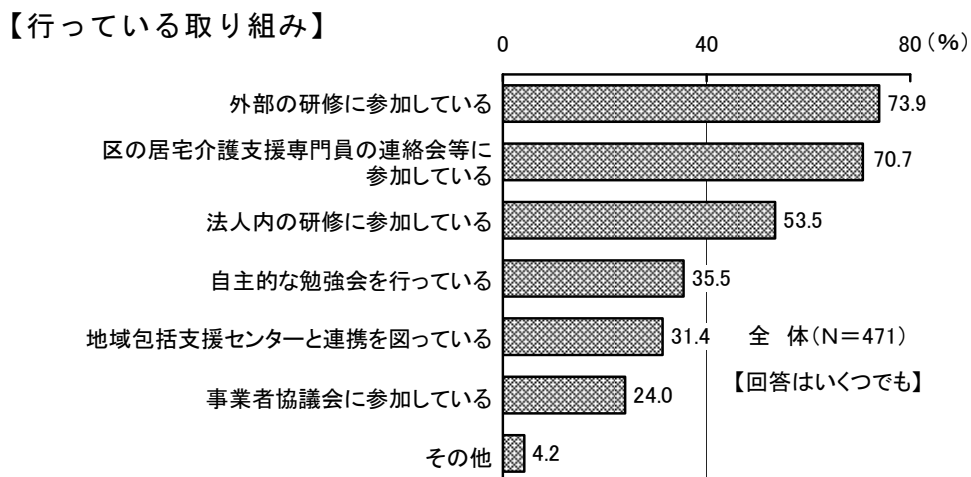
**【高齢者虐待事例の対応】**

高齢者虐待事例の対応では、「地域包括支援センターに相談した(している)」が42.9%と最も多くなっている。

## 5. 資質向上の取り組みについて

### (1) 行っている取り組み

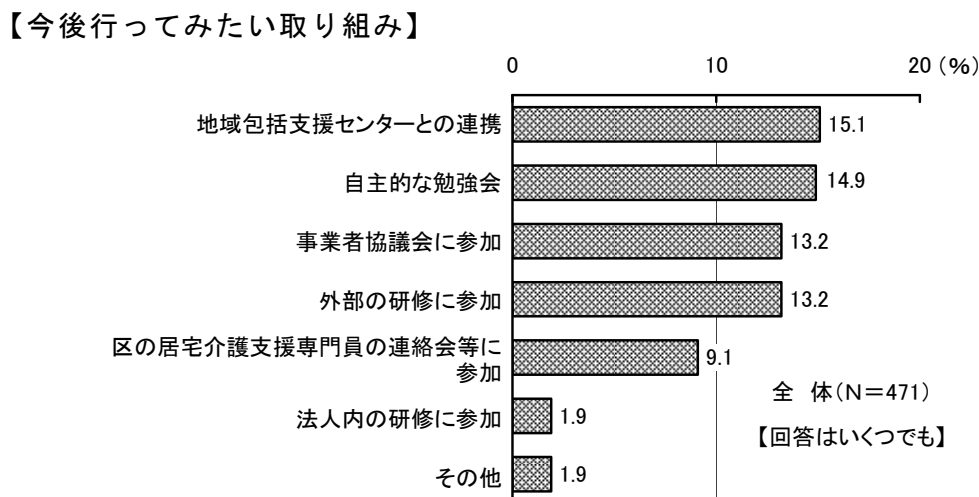
問 29 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、どのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも)



ケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている取り組みでは、「外部の研修に参加している」が 73.9%、「区の居宅介護支援専門員の連絡会等に参加している」が 70.7%と 7 割を超えている。

### (2) 今後行ってみたい取り組み

問 29-1 問 29 の取り組みのうち、現在行っていないが今後行ってみたいと思っている取り組みはありますか。(〇はいくつでも)



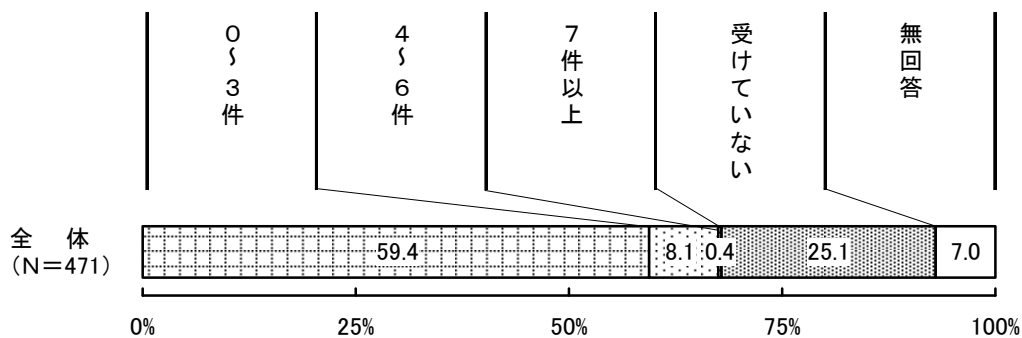
現在行っていないが今後行ってみたいと思っている取り組みでは、「地域包括支援センターとの連携」が 15.1%、「自主的な勉強会」が 14.9%などとなっている。

## 6. 介護認定調査・介護予防支援業務について

### (1) 介護認定調査の受託状況

問31 介護認定調査の委託を受けていますか。受託していればこの1カ月の調査件数も記入してください。(〇は1つ)

【介護認定調査の受託状況】



介護認定調査の委託件数は合計607件で一人当たり平均は1.8件となっている。ケアマネジャー全体の67.9%が介護認定調査の委託を「受けている」と回答している。

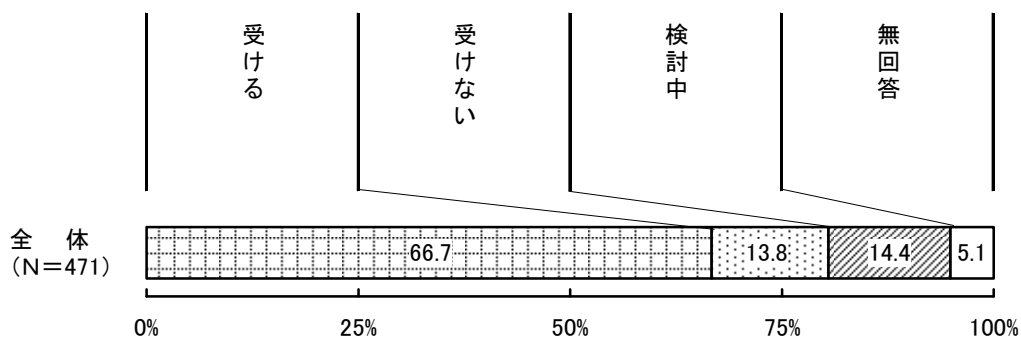
### (2) 今後の介護認定調査委託の継続意思・「受けない・検討中」の理由

問31-1 今後、委託を受けますか。(〇は1つ)

**【問31-1で「受けない」か「検討中」と答えられた方にうかがいます】**

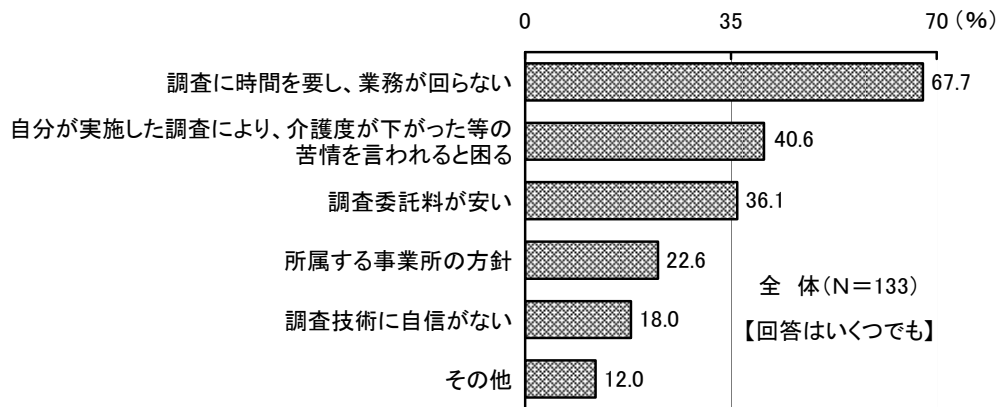
問31-2 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【今後の介護認定調査委託の継続意思】



今後、委託を受けるかという質問では、「受ける」が66.7%、「受けない」が13.8%、「検討中」が14.4%となっている。

【今後、介護認定調査委託を「受けない・検討中」と回答した理由】

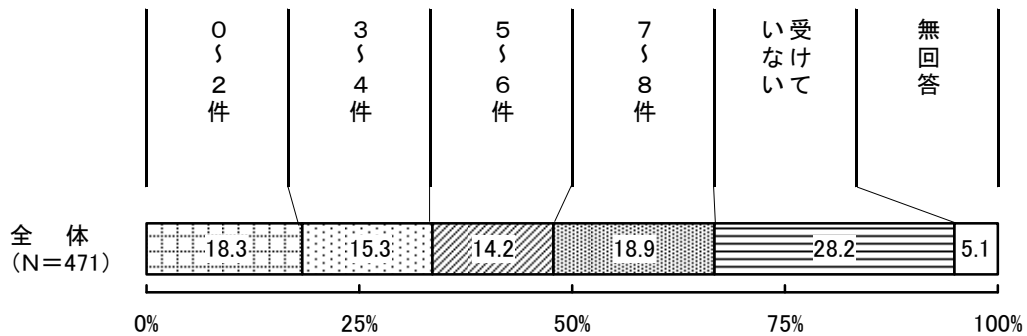


介護認定調査の委託を「受けない・検討中」と回答した人（133 人）にその理由をたずねたところ、「調査に時間を要し、業務が回らない」が 67.7%と最も多くなっている。

(3) 介護予防支援業務の受託状況

問 32 介護予防支援業務の委託を受けていますか。受託していればこの 1 カ月の受託件数も記入してください。(〇は 1 つ)

【介護予防支援業務の受託状況】



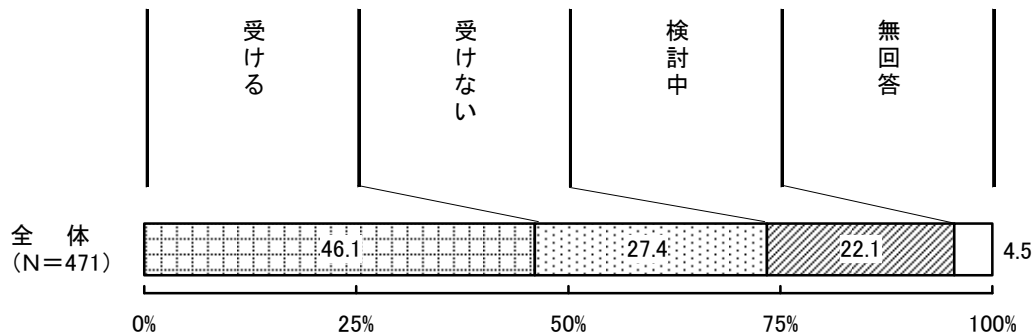
介護予防支援業務の委託件数は合計 1,427 件で一人当たり平均 4.5 件となっている。ケアマネジャー全体の 66.3%が介護予防支援業務を「受けている」と回答しており、この 1 カ月の受託件数は「7～8 件」が 18.9%、「0～2 件」が 18.3%などとなっている。

## (4) 今後の介護予防支援業務の継続意思・「受けない・検討中」の理由

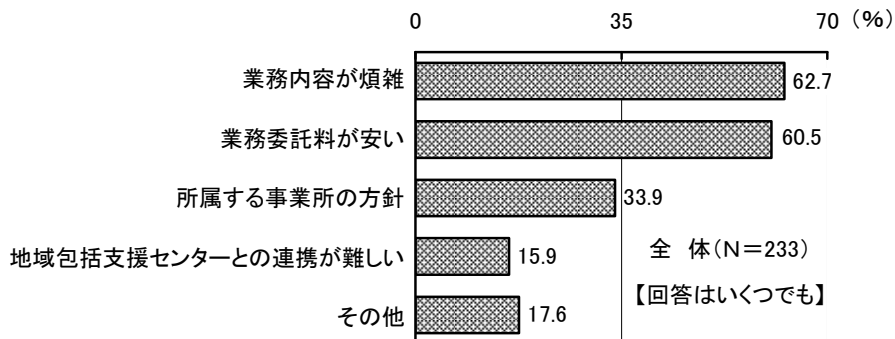
問32-1 今後、委託を受けますか。(○は1つ)

**【問32-1で「受けない」が「検討中」と答えられた方にうかがいます】**

問32-2 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

**【今後の介護予防支援業務の継続意思】**

今後の介護予防支援業務の継続意思では、「受ける」が46.1%、「受けない」が27.4%となっている。「検討中」も22.1%と、2割を超えている。

**【今後、介護予防支援業務を「受けない・検討中」と回答した理由】**

介護予防支援業務を「受けない」、「検討中」と回答した人(233人)にその理由をたずねたところ、「業務内容が煩雑」が62.7%、「業務委託料が安い」が60.5%と6割を超えている。

(5) 介護予防マネジメントの効果の有無・その理由

問 33 予防給付サービスの提供に際し、介護予防マネジメントが利用者の状態の改善や生活機能の向上に効果的であったと思いますか。(○は1つ)

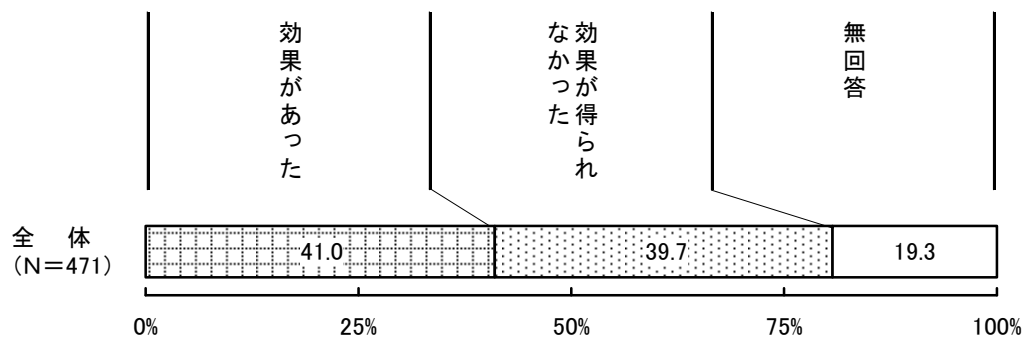
**【問 33 で「効果があった」と答えられた方にかかっています】**

問 33-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

**【問 33 で「効果が得られなかった」と答えられた方にかかっています】**

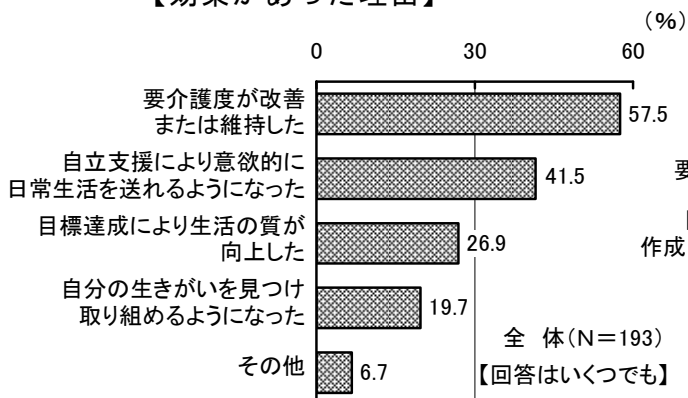
問 33-2 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

**【介護予防マネジメントの効果の有無】**

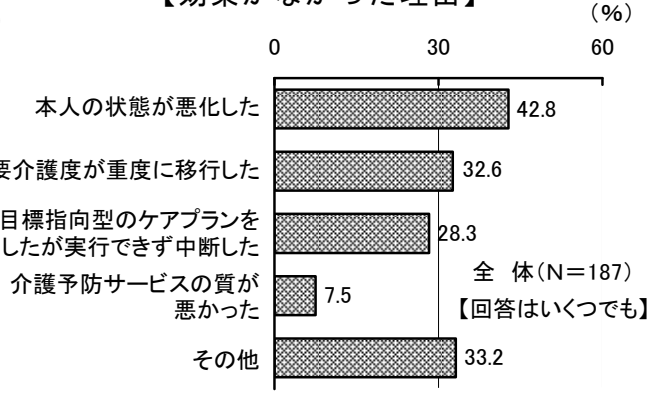


介護予防マネジメントの効果については、「効果があった」が 41.0%、「効果が得られなかった」が 39.7%と拮抗している。

**【効果があった理由】**



**【効果がなかった理由】**



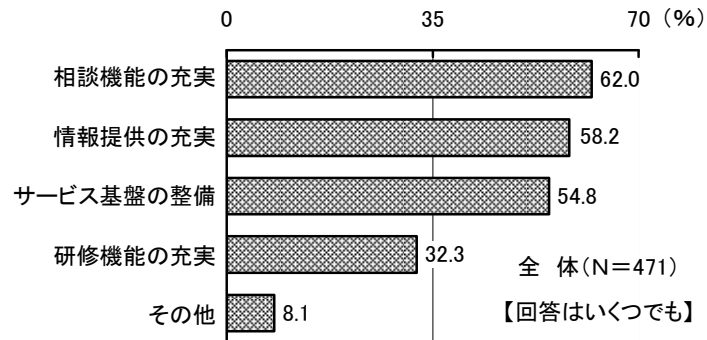
効果があった理由は「要介護度が改善または維持した」が 57.5%、「自立支援により意欲的に日常生活を送れるようになった」が 41.5%、効果がなかった理由は「本人の状態が悪化した」が 42.8%となっている。効果がなかった理由の「その他」には明確な効果はみられない、介護予防への理解が得られない、サービス量減による意欲の低下などがあげられている。

## 7. 行政の役割について

### (1) 今後、行政に期待する役割

問34 今後、行政に期待する役割は何ですか。(〇はいくつでも)

#### 【今後、期待する役割】



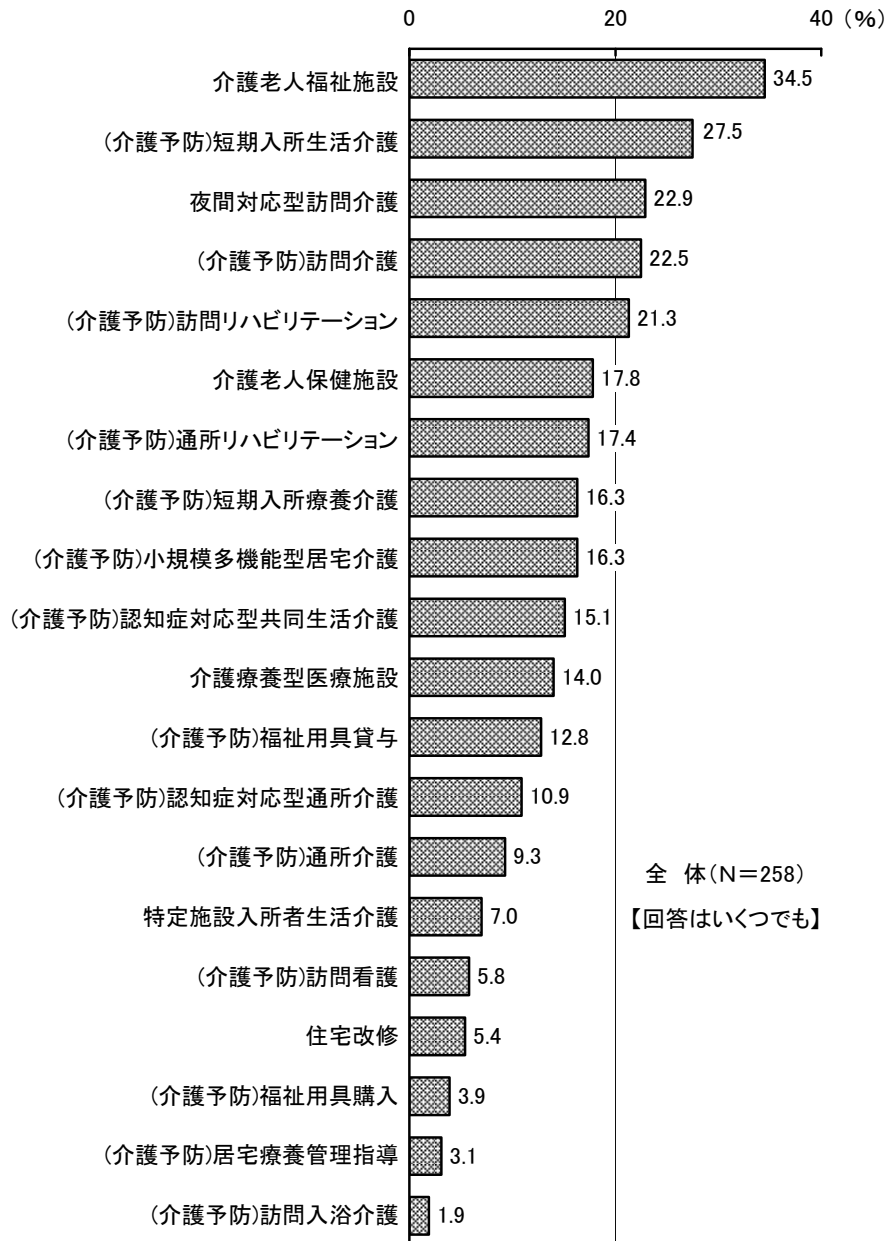
行政に期待する役割は「相談機能の充実」(62.0%)と「情報提供の充実」(58.2%)、「サービス基盤の整備」(54.8%)が5割を超えて高くなっている。

(2) 需要に対して不足しているサービス基盤

**【問 34 で「サービス基盤の整備」と答えられた方にうかがいます】**

問 34-1 特にどのサービス基盤を整備する必要がある（需要に対して不足している）と思いますか。（〇はいくつでも）

**【不足しているサービス基盤】**



行政に期待する役割で「サービス基盤の整備」と回答した人に、特にどのサービスが需要に対して不足しているかたずねたところ、「介護老人福祉施設」が 34.5% で最も高く、次いで「(介護予防)短期入所生活介護」(27.5%)、「夜間対応型訪問介護」(22.9%)、「(介護予防)訪問介護」(22.5%)、「(介護予防)訪問リハビリテーション」(21.3%)などがあげられている。